

岩古谷山からの眺望

岩古谷山は標高八〇六メートル。デイサイトと呼ばれる火成岩の岩山です。今から約一五〇〇万年前、この辺りで起こった火山活動によってできたと考えられています。



岩古谷山



和上市登山口から登るルートは東海自然歩道でもあります。



登山道

十三曲がりを通り、石を登り、峠へ出て、尾根伝いに山頂へ登ることができ、一時間半ほどで登頂できます。

山頂手前には鉄梯子や手すりが設置されています。岩肌が露出した尾根伝いにある登



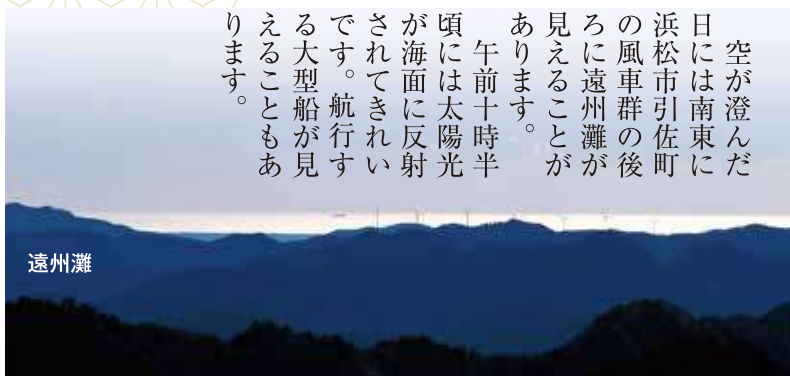
山頂から南方面

山道は、東海自然歩道の三大難所の一つと言われています。

登山道からは平山明神山や東栄町の三ツ瀬明神山が見えます。岩がむき出しになった頂上には樹木が少なく、三六〇度見渡すことができます。東に黒倉・平山などが、西に和市・荒尾・田口・田峯などの地域が見えます。

奥三河の山並みも一望できます。岩古谷山から鞍掛山、宇連山と連なる山々は設楽火山の外輪山だったと考えられています。

空が澄んだ日には南東に浜松市引佐町の風車群の後ろに遠州灘が見えることがあります。



遠州灘



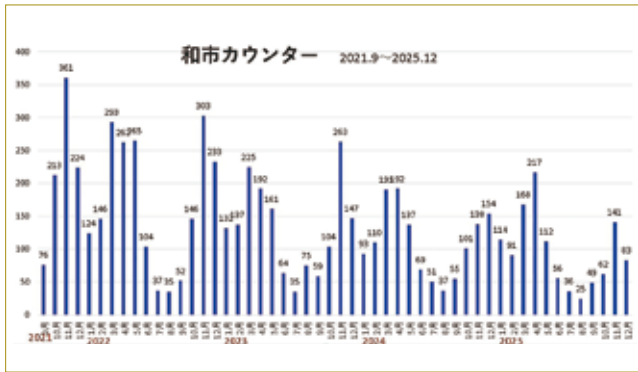
白山

また、北西の名倉方向に目を向けると石川県白山市が見えます。

和市の

登山口には駐車場があります。登山口までのアクセスが良く、岩山の本格的な登山を楽しめるので、県内外の人たちにも人気があります。

四年前、和上市登山口にカウンターが設置されました。



三月～五月の新緑の時期と十一月の紅葉の時期に登山者

が多く、夏は少ないこと、また一年間に約二千人訪れていることがわかります。
(設楽町文化財保護審議会委員 村岡周作)